

## 2012年度の宮城県の温室効果ガス排出量について

「宮城県地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」（平成26年1月策定）では、2010（平成22）年度を基準年として、県内の温室効果ガス\*排出量を算定し、進行管理を行っている。

今回、国をはじめとした各種統計資料の公表値に基づき、2012（平成24）年度の温室効果ガス排出量の算定を行ったもの。

\*温室効果ガスとは、二酸化炭素その他温室効果ガス（メタン、一酸化二窒素、ハイドロフルオロカーボン、パーフルオロカーボン、六ふっ化硫黄）をいう。

## 1 温室効果ガス総排出量

2012（平成24）年度の温室効果ガス総排出量は2,242万3千トン-CO<sub>2</sub>であり、前年度比で15.3%（297万トン-CO<sub>2</sub>）増加し、基準年比で10.1%（205万6千トン-CO<sub>2</sub>）増加した。

総排出量のうち約9割を占める二酸化炭素の排出量は2,111万5千トン-CO<sub>2</sub>であり、前年度比で16.1%（292万3千トン-CO<sub>2</sub>）増加した。

部門別の二酸化炭素排出量は、前年度比で、廃棄物部門で8.1%（4万9千トン-CO<sub>2</sub>）減少したが、他の部門では増加した。

表1 県内の温室効果ガス排出量

総排出量	排出量 (単位：千t-CO <sub>2</sub> )			2012年度の状況	
	2010年度 基準年 (a)	2011年度 (b)	2012年度 (c)	二酸化炭素 構成比	前年度比 ((c-b)/b)
	20,367	19,453	22,423		15.3%
うち二酸化炭素	19,107	18,192	21,115	100%	16.1%
エネルギー転換部門	74	29	78	0.4%	169.0%
産業部門	6,083	5,181	7,250	34.3%	39.9%
民生家庭部門	3,510	3,816	4,056	19.2%	6.3%
民生業務部門	3,768	3,474	3,723	17.6%	7.2%
運輸部門	5,117	5,085	5,450	25.8%	7.2%
廃棄物部門	555	607	558	2.6%	▲8.1%
うちその他5ガス	1,260	1,260	1,308		3.8%

※四捨五入の関係で、合計値が合わない箇所がある。

## 2 森林吸収量

2012年度（平成24）年度の森林吸収量は、137万5千トン-CO<sub>2</sub>である。

## 3 排出削減目標との比較

2012（平成24）年度の温室効果ガス総排出量（2,242万3千トン-CO<sub>2</sub>）から森林吸収量（137万5千トン-CO<sub>2</sub>）を差し引いた排出量は2,104万8千トン-CO<sub>2</sub>となっており、前年度比で12.9%増加し、基準年比で3.3%増加した。また、「宮城県地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」による2020（平成32）年度の目標値1,966万6千トン-CO<sub>2</sub>（基準年比3.4%減）と比較すると、138万2千トン-CO<sub>2</sub>多い状況となった。

なお、2011（平成23）年度の温室効果ガス総排出量は、東日本大震災による特異的状況により減少したが、2012（平成24）年度の温室効果ガス総排出量は、火力発電所の稼働増加に伴う排出係数の悪化により、電力消費による二酸化炭素排出量が増加したことが主な要因となって、増加した。

図1 県内の温室効果ガス排出量の推移と削減目標

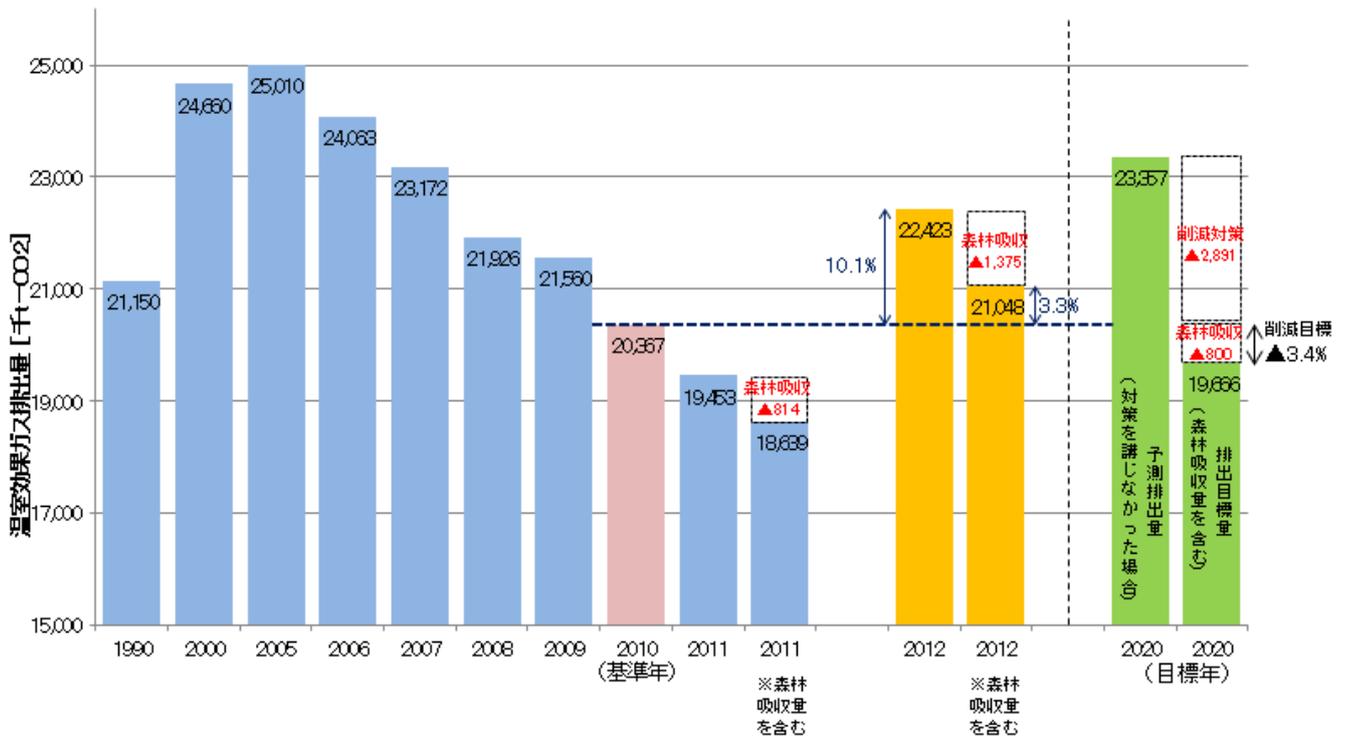


図2 県内の温室効果ガス排出量の推移と内訳

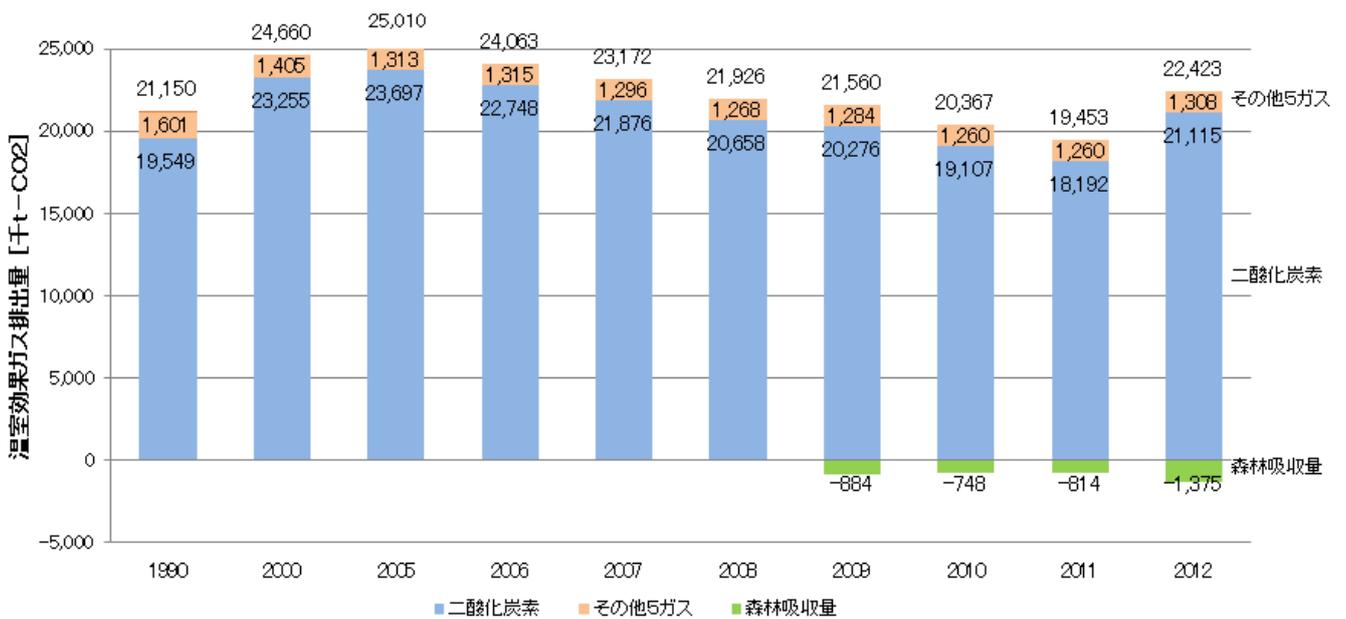


図3 部門別二酸化炭素排出量の推移（宮城県）

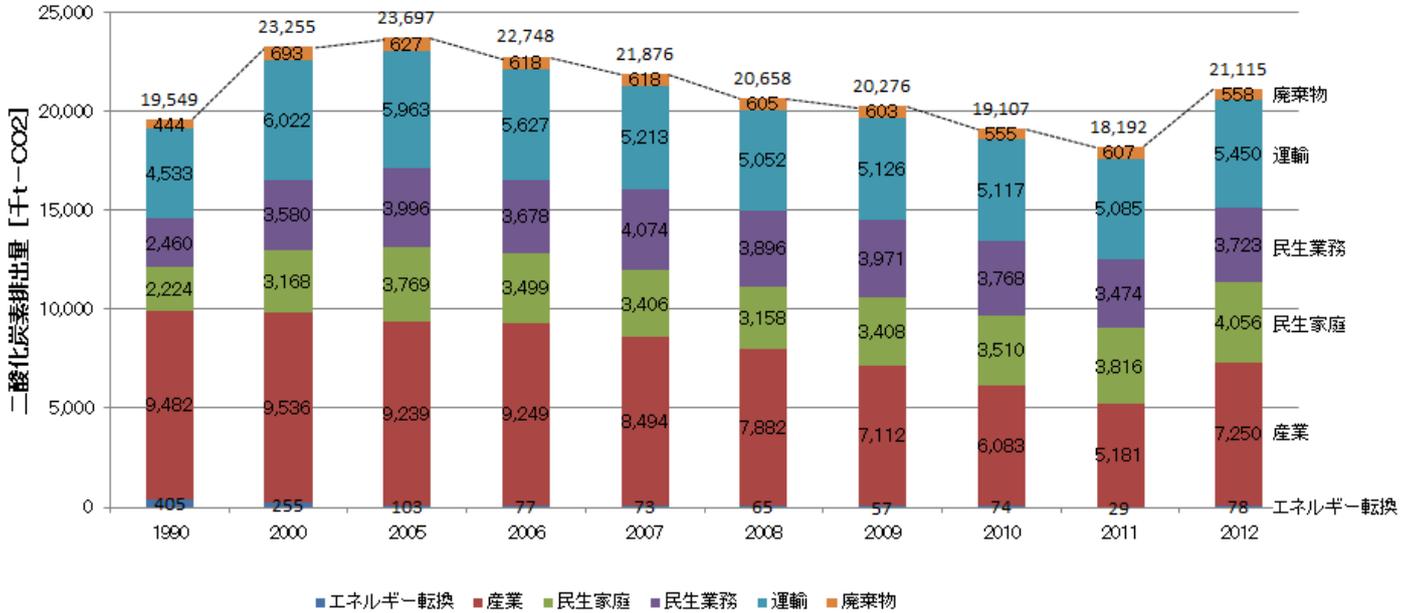


表2 部門別二酸化炭素排出量の推移（宮城県）

部門	部門別二酸化炭素排出量 (単位：千 t-CO <sub>2</sub> )										増減比	
	1990	2000	2005	2006	2007	2008	2009	2010 基準年	2011	2012	2012/ 2010 比	2012/ 1990 比
エネルギー転換	405	255	103	77	73	65	57	74	29	78	5.4%	▲80.7%
産業	9,482	9,536	9,239	9,249	8,494	7,882	7,112	6,083	5,181	7,250	19.2%	▲23.5%
民生家庭	2,224	3,168	3,769	3,499	3,406	3,158	3,408	3,510	3,816	4,056	15.6%	82.4%
民生業務	2,460	3,580	3,996	3,678	4,074	3,896	3,971	3,768	3,474	3,723	▲1.2%	51.3%
運輸	4,533	6,022	5,963	5,627	5,213	5,052	5,126	5,117	5,085	5,450	6.5%	20.2%
廃棄物	444	693	627	618	618	605	603	555	607	558	0.5%	25.7%
計	19,549	23,255	23,697	22,748	21,876	20,658	20,276	19,107	18,192	21,115	10.5%	8.0%

※四捨五入の関係で、合計値が合わない箇所がある。

【参考】

図4 部門別二酸化炭素排出量の推移（全国）

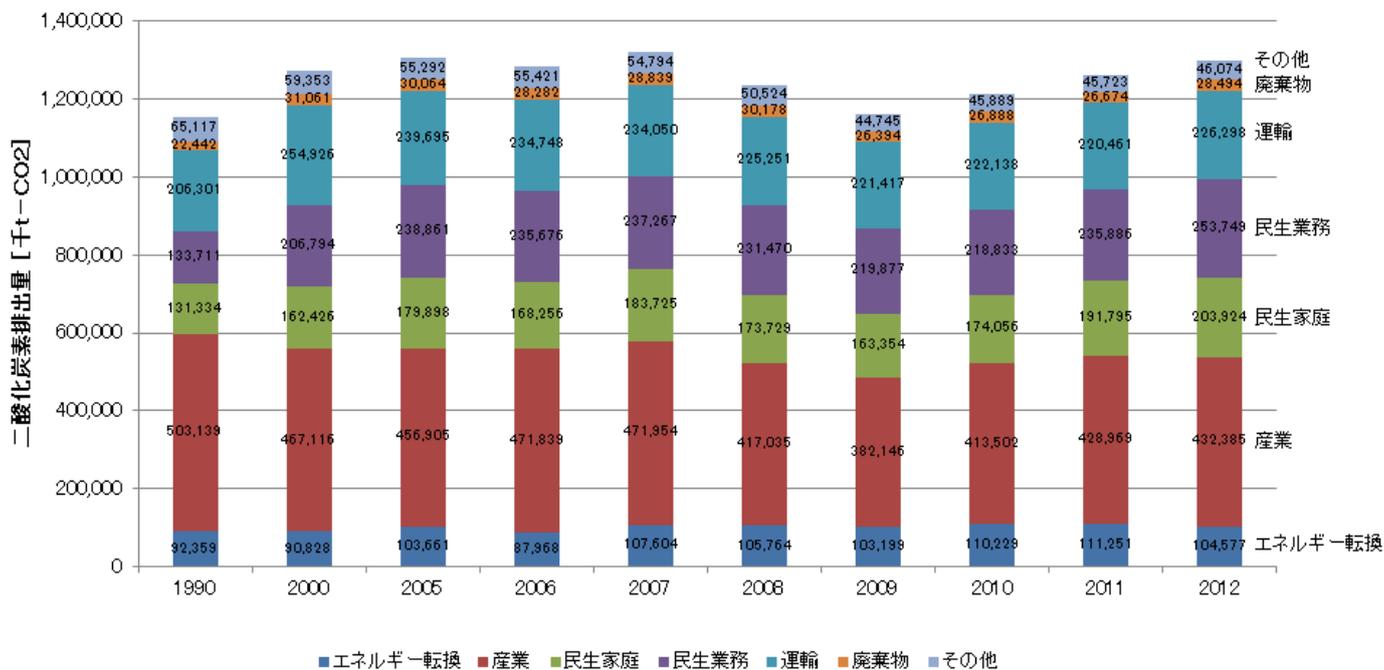


表3 部門別二酸化炭素排出量の推移（全国）

排出量 部門	部門別二酸化炭素排出量 (単位: 千 t-CO <sub>2</sub> )										増減比	
	1990	2000	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2012/ 2010 比	2012/ 1990 比
エネルギー転換	92,359	90,828	103,661	87,968	107,604	105,764	103,199	110,229	111,251	104,577	▲5.1%	13.2%
産業	503,139	467,116	456,905	471,839	471,954	417,035	382,146	413,502	428,969	432,385	4.6%	▲14.1%
民生家庭	131,334	162,426	179,898	168,256	183,725	173,729	163,354	174,056	191,795	203,924	17.2%	55.3%
民生業務	133,711	206,794	238,861	235,676	237,267	231,470	219,877	218,833	235,886	253,749	16.0%	89.8%
運輸	206,301	254,926	239,695	234,748	234,050	225,251	221,417	222,138	220,461	226,298	1.9%	9.7%
廃棄物	22,442	31,061	30,064	28,282	28,839	30,178	26,394	26,888	26,674	28,494	6.0%	27.0%
その他	65,117	59,353	55,292	55,421	54,794	50,524	44,745	45,889	45,723	46,074	0.4%	▲29.2%
計	1,154,403	1,272,505	1,304,376	1,282,189	1,318,232	1,233,951	1,161,133	1,211,535	1,260,760	1,295,500	6.9%	12.2%

<出典> 国立環境研究所 温室効果ガスセントリオフィス